（登録申請様式０４）

**ファインバブル技術の概要**

**１：ファインバブル技術の名称**：

例：ファインバブル発生機構が組み込まれたシャワーヘッド

例：ファインバブル発生装置

例：ファインバブル発生機を含む○○製造工程

　　　　　　　　　例：ファインバブル発生機を内蔵する○○製造工程

　　　　　　　　　例：ファインバブル水を用いた○○サービス

　　　　　　　　（ただし、５０字以内。）

**２：技術実施の効果**：

　　　　　　　　例：本ファインバブル発生装置が組み込まれた浴槽用給湯器から供給された浴槽を利用すると、洗浄効果が向上し、湯上がり後の保温効果が向上する。

例：本製造工程を用いた▽▽製品では、その◇◇性能が向上し、◎◎利用のための市場競争力が高まる。

　　　　　　　　　（文章の数は問わず、文字数５００字以内。簡潔な記述。）

**３：効果の詳細**：

　　**３．１　発生しているとされるファインバブルの特性と分散媒体**

　　　　　（できるだけ定量的に。グラフや絵の添付可。）

　　**３．２　性能向上の詳細**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（題名は、項目２に合わせて適切なもの。できるだけ定量的に。グラフや絵の添付可。）

　　**３．３　発生機の詳細**

　　　　　（題名は、項目２に合わせて適切なもの。FBIA会員の製造する機器や用いる技術を明確に指定。製造）

**４：技術の概要記述の信頼性**

　　　　上記、項目３の記述を保証する文面を記載。

　　　　　　例：上記技術に係る記述の正当性は申請者が保証するものである。

　　　　　　例：上記３．１に添付のデータは、◎◎試験機関が保証しているものである。

　　　　　　例：上記３．２の効果については、下記の学術論文を参照している。）

　　　　技術の概要記述に関する如何なる疑義に対しても説明責任は申請者が負う。

**５：技術の概要記述を支持する資料、データ**

　　　　　（関連特許、学術論文、公的規格、公的データなどの参照リスト。

　　　　　　必ず番号付けすること。それぞれ容易に入手できるものとし、そうでない場合に

　　は本様式記載に添付する。）